

# 潮がし



ながす議会だより  
No.118

## 平成26年6月定例会

- 平成26年度 一般会計補正予算を可決 ②
- 平成26年第1回 臨時議会 ④
- 一般質問 11人が登壇し町政を問う ⑥
- 意見書／あん質問はどがんなった ⑰



祈 無病息災! 「ぎょんさん」の掛け声とともに  
お旅所16カ所を練り歩き

7月26・27日 長洲祇園祭

2014年  
8月発行



# 5019万円を追加

— 総額64億1787万円 —

平成26年第2回定例会は

6月19日開会し24日まで開かれた

## 全議案可決された

### 一般会計補正予算

#### 【主な質疑】

**問** (荒木議員)  
六栄小学校が「生きる力を育む」ということで県の研究指定を受けているが、その内容は。

**答** (学校教育課長)  
26年から27年にかけて2年間の指定を受けた。全ての分野に「生きる力を育む」ことが入っており、学力充実や心の教育もその一つだ。

**問** (磯野議員)  
熊本北部漁協が所有するノリ保管用冷凍庫の改修工事の内容は。

**答** (農林水産課長)  
3月上旬に扉の側面の腐食や剥離が見つかった。県に相談し水産基盤交付金の内示を受け、本年度秋の稼働に間に合うように補修

を行うもの。現在の利用は、北部漁協全体で13人だ。

**問** (樋口議員)  
保育所の緊急整備事業補助金の追加補正(840万円)はどのようなことか。

**答** (子育て支援課長)  
長洲保育所と清里保育所については、現在の施設から長洲幼稚園の敷地に建て替えを行うものであり、腹赤保育所と上沖洲保育所に関しては、腹赤保育所の西側に増築するものだが、今回の追加の補正は、3月の当初予算作成後に、資材や労務費の値上がりなどを反映し、国の補助基準額を9.5%アップするという通知に基づいてのものだ。

**問** (宮本議員)  
くまもと地産地消活動支援事業とは。

**答** (農林水産課長)  
県の事業であり、それぞれの自治体で農産物の活用を図ることが目的となっている。

町としては、ミニトマトの認知度向上と、その普及を目指し長洲産ミニトマト料理コンテストを開催する予定である。

**問** (市原議員)  
介護予防拠点整備事業、今回で町内27カ所目となる。せっかくできた施設を利用する人が増えるように、また新しい喜びや生きがいを感じられるような施設にしていける事が大切だが。

**答** (町長)  
拠点の施設では、体力測定とか認知力の測定、いきいきシニア教室、脳の健康教室、健康体操などたくさんある。健康をやることにより、介護予防や生涯学習の充実に取り組みたい。利用者数の増にも努めたい。

**問** (福永議員)  
保育所の整備事業に当初予算と今回の補正合わせて9千数百万円を一般財源から補助する。実際の工事は町内業者が入れるようにお願いしてはどうか。

**答** (町長)  
統合園創設また大規模改修にあたってはそれなりの建設技術を持ったところに頼まれるとは思いますが、その建設事業に、地元業者が参入できるように願っています。

### 一般会計補正予算の主な事業

事業名	予算額(万円)	事業概要
コミュニティ事業成	250	地域のコミュニティの活性化等を目的に「宝くじの普及広報事業」から交付される助成金で、今年度は清源寺区のワイヤレス放送システムの整備を行う。
保育所等緊急整備事業	2531	保育所の老朽化等による保育環境整備、子どもを安心して育てることが出来る体制整備を行う。
地域密着型サービス拠点等施設整備事業	750	高齢者が元気に安心して暮らせるまちを目指し、介護予防拠点の整備を行う。
くまもと地産地消活動支援等推進事業	30	長洲産ミニトマトを活用した農業振興の発展をはじめ、更なる認知度向上・地場産業の活性化を目指し、料理コンテストを開催する。
水産基盤整備交付金事業	28	熊本北部漁業協同組合が所有する海苔保管用冷凍庫の一部改修に対する県の交付金。
B&G海洋センター艇庫改修事業	875	老朽化に対する安全性及び適正管理の観点から、B&G海洋センター艇庫の改修工事を行う。
長洲町中央公民館改修事業	810	生涯学習や介護予防の拠点としての機能強化を図るため、正面玄関の段差解消やトイレの洋式化などの改修を行う。

# 平成26年度 一般会計 補正予算 全員賛成で可決

## 公共下水道特別会計補正

〈内容〉

都市計画道路長洲玉名線の街路改良事業に伴う下水道管の移設で、場所は長洲斎苑の西側の町道と交差する道路箇所、移設費は県からの支出。

補正額634万円。

（福永議員）

今回の場合、この道路の改良事業がしており、随意契約でないのではと思う。新たな

に設計業務委託をし落札、工事となると手間も時間もかかると思うが。

（下水道課長）

県との協議で、補償費での対応ということになり、その中の工事の発生、業務の発注を行うという形にならざるを得なかった。

全員賛成 可決

## 条例の改正

〈内容〉

長洲駅南口駐車場の使用形態に新たに定期駐車を導入するもの。

（宮本議員）

駅南口駐車場に定期駐車を加えるということは定期駐車が優先となるが、一般の駐車は確保できるのか。

（総務課長）

駅南口駐車場は、81台のスペースがあり、十分賄えると考えている。

全員賛成 可決

## 水道事業会計補正予算

〈内容〉

新山跨線橋工事に伴い水道管の移設が必要となった。移設する水道管は新しく施工される道路に布設される。移設費は県からの支出。補正額は425万円。

（磯野議員）

下水道移設工事と下水道移設工事を同時に行えば工事費用が減額できるのでは。

（水道課長）

水道移設工事の工

期設定は、9月末と考

えている。水道管は県が施工するボックスカルバートの中を通す計画であり、下水道と一緒に埋設すれば土圧の関係で修理不能となるので、別ルートになった。

（福永議員）

水道管と下水道管の距離はどれくらいか。また、緊急を要する工事なので随意契約すべきでは。

（水道課長）

下水道管は海岸線を直線に埋設し、水道管は既設のボックスカルバートの中を通す計画であり、その間5〜6メートル程度である。水道移設工事は短期間で終り、9月末まで完了すると考えている。緊急を要する工事と考

え指名入札か随意契約かについては今後検討する。

全員賛成 可決

## 工事請負契約の締結

〈内容〉

（工事名）  
長洲町役場庁舎耐震改修工事

（契約金額）  
1億476万円

（契約の相手）  
長洲町大字腹赤

興亜建設工業株式会社

（契約の方法）  
条件付一般競争入札

〈問〉

（磯野議員）  
条件つき一般競争入札に係る応札企業数と落札率は。

〈答〉

（総務課長）  
参加申請がなされた企業は4社、落札率は、97.09%であった。

〈問〉

（福永議員）  
地方自治法施行令167条の5に、一般競争入札に参加する者に必要な資格等が規定されている。それに沿って条件をつけるのは、首長の権限では。

〈答〉

（濱崎議員）  
条件つき一般競争入札では、予定価格を公表されているのか。

（総務課長）  
公告をだすときに

賛成11 反対2 可決

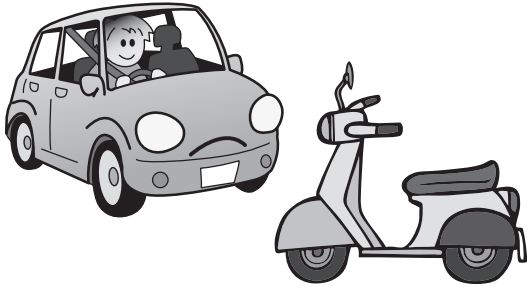
駐車場の名称	区分	使用料(円)	
長洲駅南口駐車場 (普通駐車)	1時間まで	無料	
	1時間を超えて2時間ごと	100	
	パーキング カード	駐車料金 3,200円相当券	3,000
		駐車料金 5,600円相当券	5,000
長洲駅南口駐車場 (定期駐車)	定期駐車券	駐車料金 9,200円相当券	8,000
		1月間の 不定回数の駐車	4,500
長洲駅西側駐車場 (定期駐車)	定期駐車券	1月間の 不定回数の駐車	4,500

平成26年第1回

# 臨時議会

平成26年5月23日

全議案可決



長洲町税条例を改正する専決処分の承認

〈内容〉

法人税制の税率の引き下げ、軽自動車税の見直し、償却資産に係る課税標準の特別措置の創設。

〔主な質疑〕

**問** (磯野議員)

この条例改正により該当する軽自動車の台数と税金の増収は。

**答**

(税務課長)  
8159台で370万円の増収となる。  
賛成10 反対3 承認

## 軽自動車税の税率が変更になります。

(一例)

軽自動車種	税率(年額)		
	平成27年3月31日までの登録者	平成27年4月1日までの登録者	登録後13年超(経年重課)
原動機付自転車(50cc以下)	1,000円	2,000円	-
4輪乗用 自家用	7,200円	10,800円	12,900円
4輪貨物 自家用	4,000円	5,000円	6,000円

※平成27年3月31日までに新規登録した車両(初めて車両番号の指定を受けた車両)は、登録後13年までは現行税率のままです。

※初めて車両番号の指定を受けた月から13年を経過した車両(電気軽自動車等を除く。)は、平成28年度から、上記表の経年重課の税率が適用されます。

長洲町国民健康保険税条例を改正する専決処分の承認

〈内容〉

課税限度額の引き上げと軽減対象者の拡大。  
医療分  
変更なし(51万円)

後期高齢者支援金分

改正前 14万円 ↓ 改正後 16万円

介護分

改正前 12万円 ↓ 改正後 14万円

合計

改正前 77万円 ↓ 改正後 81万円

(介護分なしの場合 67万円)

全員賛成 承認

国保特別会計補正

〈内容〉

※繰上充用について

**問** (大森議員)

医療費の適正化を計り、医療費削減を進めるよう努めるのが第一ではないか。

**答** (町長)

国保財政の状況説明と予防医療に努める。

**問** (福永議員)

繰上充用の前にすべき手段はなかったか。

**答**

(福祉保健介護課長)  
赤字解消や縮小に努力していきたい。

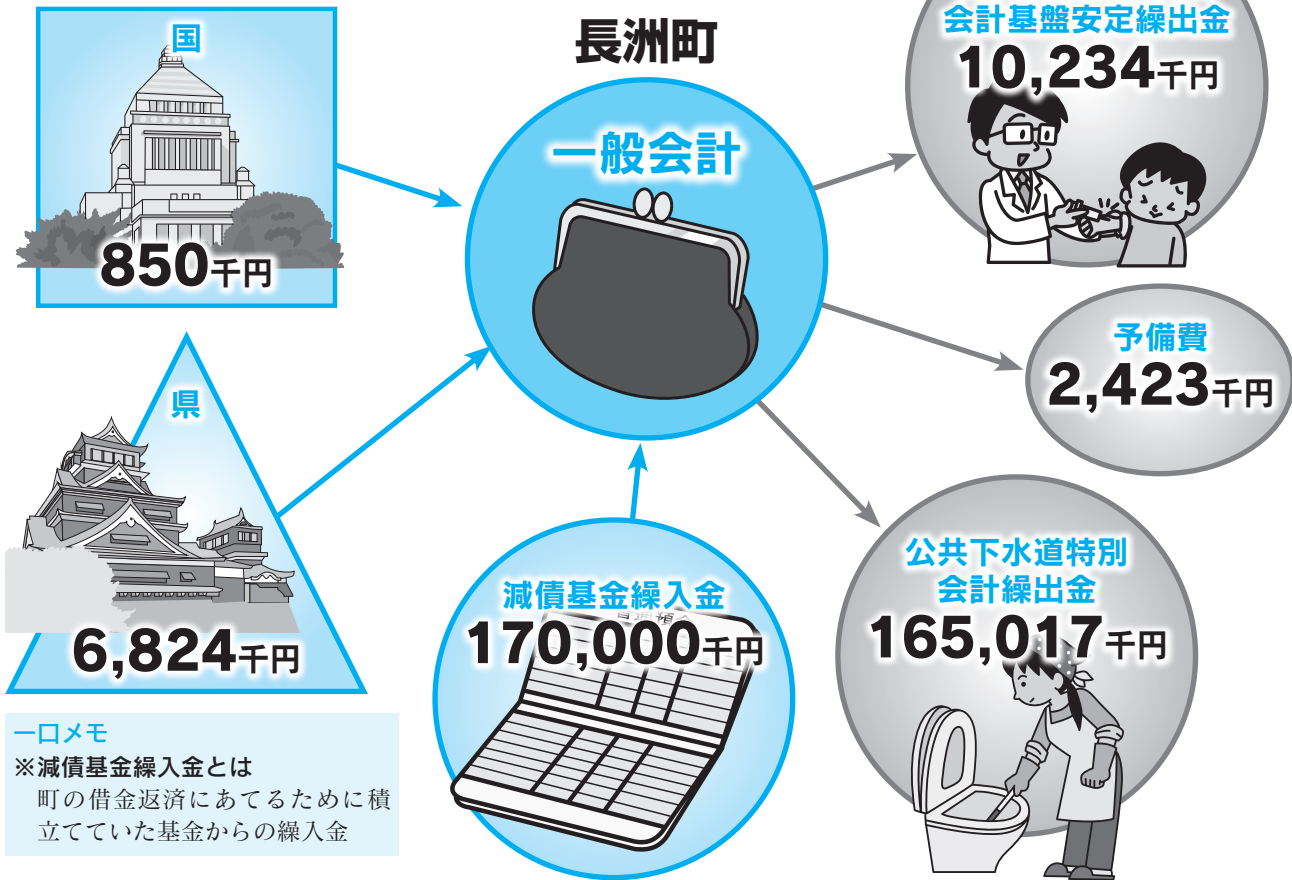
賛成10 反対3 可決

	対象世帯
7割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円以下の場合
5割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円を超え、33万円+24万5千円×(被保険者数+特定同一世帯所属者数)以下の場合
2割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円を超え、33万円+45万円×(被保険者数+特定同一世帯所属者数)以下の場合

※決算で歳入が歳出に不足する場合、翌年度の歳入を繰り上げて補うこと。



一般会計補正予算の動き



〈内容〉

国民健康保険の税制改正に伴う繰出金の追加と公共下水道会計の累積赤字解消のための繰出金の追加。

**問** (磯野議員)  
今回の繰入れて下水道は赤字脱却となるが、住民にはどう周知するのか。

**答** (総務課長)  
広報ながすでの周知や町政座談会の際に、丁寧に説明していきたい。

**問** (福永議員)  
これは下水道会計の繰上充用だから、下水道会計で26年度予算を見直し、減らせるものは減らす努力をすべきではなかったか。

**答** (総務課長)  
あつてはならないが、今後の繰上充用に對する基金の取り崩しは慎重に対応していく。

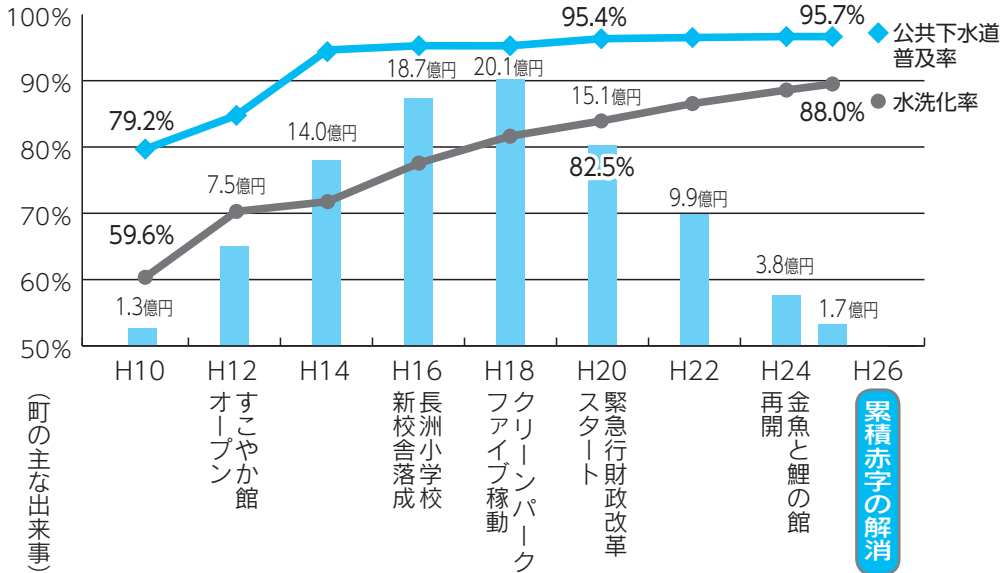
賛成11 反対2 可決

公共下水道特別会計補正

〔累積赤字約20億円解消へ〕  
公共下水道特別会計補正予算案を可決し、平成26年度をもって累積赤字解消のめどが立った。今後も事業運営を厳しい目でチェックしていく。

賛成11 反対2 可決

公共下水道特別会計の累積赤字額と普及率・水洗化率の推移





竹本信次議員

『若者定住促進』アクションプラン推進体制の整備を!!

答 駅前南側開発「若者定住政策」を積極的に推進したい

**問** 町の住宅ストック数(現在建築されている住宅)、空き家数、新設住宅着工戸数は、また、人口減少が進むなかで、空き家率は将来的にどのように推移していくと考えるか。

**答** (町長) 住宅・土地統計調査によると、町の住宅ストック数7080戸、

空き家数790戸、新設住宅着工戸数は昨年度52戸、空き家率11.2%で全国割合13.1%や県割合13.7%を下回ってはいるが、人口減少が進み、空き家率は増加すると考えている。今年度、空き家等に関する条例を整備したい。

**問** 「若者定住促進」を一層推進し、地域が賑わい・活力の源である若者が定住するため、『長洲町元気戦略』推進体制を整備し、民間資金等を活用した社会資本整備による駅前南側開発の実現方を早期に検討すべきでは。

**答** (町長) 現在の出生率は1.41で、2.2ないと人口は維持できない。長洲町には4600人ほどが働いていて、若い人が定住するためには定住政策を積極的に進める必要がある。有明海沿岸道路の延伸を町発展の起爆剤とし、駅前南側開発を推進したい。

女性が活躍できる就労環境の整備を!!

企業等連絡会議を推進し、女性の雇用の促進を図りたい

**問** 今年の新卒(男性・女性)採用状況は。

**答** (町長) 町全体で約4600人が雇用されており、昨年比べて約30人増加している。本年の新卒採用は、大卒33人、高卒51人の84人(内女性7人)で、昨年よりも21人の減となった。町内在住者の雇用は、大卒3人、高卒5人の8人で13人の減となった。

**問** 人科等)の誘致に、積極的に取り組むべきでは。

**答** (まちづくり課長) 町全体で女性の雇用は約700人、割合は15.5%で製造業が中心である。医療施設等については、有明定住自立圏域のなかで就労環境の改善を図りながら女性の働く場の確保に向け取り組んでいきたい。

町営住宅の整備をすべし。

**答** (まちづくり課長) 民間の資金とノウハウを活用したPFI方式により、高齢者・子育て支援地域優良賃貸住宅の建設ができないか、昨年度から検討している。

佐賀県みやき町のPFI方式町営住宅 入居率100%



子育て支援マンションの整備を

**問** 町はもっと女性・人材活躍戦略を図り、女性の活躍により飛躍している企業、町にない医療施設(産婦

**問** 現在、町営住宅の整備が推進されていない。ひとり親世帯向け



もっと『女性・人材活躍戦略』の推進を



机の下にかくれろ!!



荒木睦子議員

# 小中学校における防災教育は

## 答 自分の命は自分で守るという意識を指導

**問** 多くの教訓や課題をもちました東日本大震災から3年3カ月あまり、学校現場でも防災に対して、かなりの危機意識を持ったのではないかと。そこで、小中学校の防災教育の取り組みを問う。

**答** (教育長) 各学校では、防災計画避難経路図、地震

や津波等の対応マニュアルを作成し、毎年、地震津波想定訓練や火災訓練を行っている。

**問** 各学校の避難場所の確保は。

**答** (学校教育課長) 長洲小学校と長洲中学校は、屋上に避難、その他の小中学校は校舎の最上階に避難する計画となっている。

**問** 地域と連携した避難訓練の計画はないか。

**答** (学校教育課長) 学校での地震・津波避難訓練に、地域の

### 海難碑付近の公園化を

#### 長洲海岸の遊歩道整備にあわせ検討

**問** 新山墓地跡に建立されている長洲遭難の碑、古墳改葬之碑。その付近の整備についての町の考えは。

**答** (町長) 新山区にあるそれぞれの碑は、暴風や寛政の大津波で亡くなった多くの漁民や住民の冥福を祈って建てられたもので、昭和51年に長洲町文化財の指定を受けている。その現地

皆様が一緒に参加し、実施することは可能だと思ふ。学校と十分協議しながら共同訓練を検討する。

の公園化については、現在進めている長洲海岸の遊歩道整備と隣接しているため、あわせてベンチや駐車場等の整備に向けた事業が実施できないか検討していきたい。

**問** 海難の碑付近は隠れた観光スポットとして、町内外から訪れる人がいる。町外からは貸切バス利用もあるが、ご存じか。



静かにたたずむ海難碑

**答** (町長) バスが来ているという話は聞いている。

**問** 公園化の整備をお願いするとともに観光スポットの一つに考えていただきたい。





子どもたちにラジオ体操を



磯野 博議員

# 独自の教育の推進を図ってみてはどうか

## 【答】今後も連携を図りながら教育の向上に向けて積極的に取り組んでいく

**問** 幼少のときから学校教育で慣れ親しみ学んだラジオ体操は年月が過ぎても体が覚えており、生涯にわたっているような場面での準備運動に対応できる。しかし、近年ではラジオ体操を取り入れていない小学校も多く、ラジオ体操ができない子どもたちや、大人も増加している。本町の学校教育現場でラジオ体操を指導してはどうか。

**答** (学校教育課長) ラジオ体操は、従来の慣習で行われているものであり、学習指導要領の中にはない。それと体育の授業時間の都合もあり、その時間に必要なストレッチ運動をやっている。

**問** 運動会時にラジオ体操を採用していただろうだが、普段の体育の授業でも取り組んでいるのか。

**答** (学校教育課長) ほとんどの授業ではストレッチ運動だ。中学校ではラジオ体操第二を行っている。

**問** 「最近の新入社員には、ラジオ体操

**答** (教育長) それぞれ体育の授業前の準備体操に考えていきたい。

### 愛国心を育む教育を

#### 国旗・国歌を大切にしている

**問** 愛国心を育む独自の教育の推進が必要だと考える。国では平成11年8月に「国旗及び国歌に関する法律」が公布施行されており、教育委員会には「学校における国旗及び国歌

**答** (教育長) 学校では、行事等で国旗掲揚、君が代斉唱を行っている。道徳

**答** (教育長) 学校では、行事等で国旗掲揚、君が代斉唱を行っている。道徳



役場屋上でなびく国旗 町旗

**問** 国歌の由来、歌詞の意味の指導は。

**答** (教育長) 音楽の授業において歌の指導、歌詞の意味の説明も教科書で行っている。

では、ただ国旗を大事にするというだけでなく伝統と文化を継承し、我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化を創造し、自国のみならず、他国も尊重し、国家社会の平和に貢献で





消火栓のない里道への対策は



浦邊朝章議員

# 火災があつた新町区の狭い道路の拡幅は 答 地域や地権者の協力が必要

**問** 4月にあつた火災では、道路が狭く消防自動車も数十m離れた所までしか入れずホースを繋いで消火活動にあたっていた。しかし、残念なことに住民一人が亡くなられた。町はこれら狭い道路の拡幅をどう考えるか。

**答** (町長) 町内には、緊急車両が進入できない狭い道路が多くあり、道路を拡張する場合、地域や地権者の協力が必要とされる。地域の話をよく聞かせて欲しいと考えている。

**問** 緊急車両の進入に必要な道路幅員は、また、消火栓の位置に規定はあるのか。

**答** (建設課長) 車両の大きさにもよるが、4mの道路幅員は必要と考える。(総務課長) 消火栓としての位置の規定はないが、防火水槽、川やため池を含めた消防水利としては規定がある。今回の火災地は100m以上あり十分ではなかった。今後計画的な配備をしていきたい。

**問** このような狭い里道等の拡幅の要望は、区からは出ていないか。また、区からの要望がないと動けないのか。

**答** (建設課長) この区からは出ていない。他の区からは、舗装等も含め4件ほどある。区の現状や意向を区長さんから伝えて欲しい。

**問** 長洲町は住宅用地が少なく、農地の宅地化は今後も増えてくる。工事費も大きく、受益者負担や地元の維持管理にも無理があると思うが。

**答** (まちづくり課長) いろいろなサイドから総合的に検討をしていきたいと考えている。

## 急がれる農業用排水路の整備 整備が必要なのは認識している

**問** 二ノ割地区の農業用排水路は、梅雨時期を迎え農地への冠水や土手の崩壊の恐れがある。住宅も立ち並び、住環境の面からも

**答** (町長) 改善が必要では。全ての水路の維持管理は財政的に困難である。維持管理は、使用する地元受益者に協

**問** 道路や水路の定住化等の中で総合的に計画さ

**答** (建設課長) 維持管理は地元でお願いしているが、対応が困難という場合は、検討する。

**問** 水路の問題は、



水が流れない東荒神区の水路



樋口エミ子議員

# 町の介護保険事業の現状は

## 答 おおむね計画どおりで推移している

**問** 介護保険制度が平成27年度から新しく変わるなか、町の介護保険事業の現状は。

**答** (町長) 一号被保険者(65歳以上)は前年より117人増加の4835人、要介護認定者数は前年度より31人減少し904人、要介護認定

率は1.29%減少の18.7%となっている。介護保険給付費については、地域密着型介護

サービス費と施設介護サービス費が大幅に増加となったため、給付費全体で前年度より4%増加となり、15億4500万円の執行となっている。

**問** 平成27年度から介護保険料が改正される。町の試算は。

**答** (町長) 現在、町の介護保険基準額が5400円と、県内で4番目に高い保険料になっており、高齢者の負担をできる限り抑えたところの保

険料を決定したいところだが、高齢化率の上昇により認定者数も増加すると予想される。今後、介護予防事業の

取り組みによる保険料の抑制効果等を精査し、適正な保険料を積算していきたいと考えている。

**問** 各区の老人クラブは活発に活動されている。その中のシルバーヘルパー活動について町はどのように認識しているか。

**答** (福祉保健介護課長) 老人会のシルバーは毎日それぞれお世話ということで大変ご苦労されていると思っ

ている。介護保険新制度では、元気な高齢者が生きがいを持ってボランティア活動ができるような町独特のシステムを構築し、有償

ボランティアでいろいろな困り事の手伝いをしていただく安心生活基盤構築事業のシステムをつくる予定である。



利用者のための介護保険事業を

### 高齢者福祉計画の新しい取り組みは 有償ボランティアの育成を計画している

**問** 第6期高齢者福祉計画の新制度に向けての取り組みは。

**答** (町長) 平成27年度から平成29年度までを計画期間として今年度作成する。医療・介護の連携の強化、予防給付の地域支援事業への移行、

介護保険費用の公平化といった法改正に即応した計画としていく。

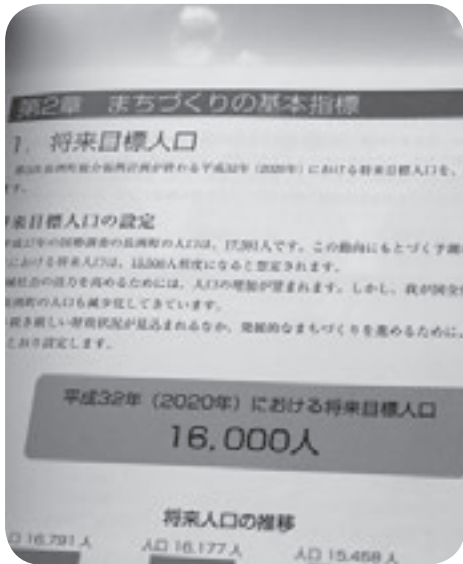
**問** 介護支援ボランティア制度の導入を。

**答** (福祉保健介護課長) 今後の生活支援の対応は団塊世代の方の協力が必要と考える。



第6期計画 策定中





人口減少に歯止めを

平成32年(2020年)における将来目標人口  
16,000人

将来人口の推移  
AD 16,791人 AD 16,177人 AD 15,468人

人口減少に歯止めを  
の戦略にはストッブ少  
子化、地方元氣、女性  
人材活用等を施策とし

町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。  
また、人口減少対策等

た。今回の発表は数字  
的な議論に基づき公表  
され、地域実情や特別  
な原因など考慮されて  
おらず、いろいろな要  
因が絡んでいるので当  
町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。

また、人口減少対策等  
の戦略にはストッブ少  
子化、地方元氣、女性  
人材活用等を施策とし

町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。  
また、人口減少対策等

た。今回の発表は数字  
的な議論に基づき公表  
され、地域実情や特別  
な原因など考慮されて  
おらず、いろいろな要  
因が絡んでいるので当  
町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。

また、人口減少対策等  
の戦略にはストッブ少  
子化、地方元氣、女性  
人材活用等を施策とし

町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。  
また、人口減少対策等

た。今回の発表は数字  
的な議論に基づき公表  
され、地域実情や特別  
な原因など考慮されて  
おらず、いろいろな要  
因が絡んでいるので当  
町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。

また、人口減少対策等  
の戦略にはストッブ少  
子化、地方元氣、女性  
人材活用等を施策とし

町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。  
また、人口減少対策等

た。今回の発表は数字  
的な議論に基づき公表  
され、地域実情や特別  
な原因など考慮されて  
おらず、いろいろな要  
因が絡んでいるので当  
町は消滅する可能性あ  
りとは考えていない。



子どもたちの未来のために



宮本哲太郎議員

# 町は将来、人口減により消滅するのか!!

## 答 人口減少対策を実施していく

**問** 日本創成会議が発表した試算で二地方から大都市への人口流出が今のペースで続けば、2040年には全国の市町村で20〜30才代の女性が半分以上になり、生まれる子どもも減って将来は消滅する自治体もある」と発表された。県内でも26の市町村が該当し当

町もその中に含まれている。町の考えは。

**答** (町長) 日本創成会議が成長を続ける21世紀のために「ストッブ少子化・地方元氣戦略」において発表されたもの。その中で国立社会保障・人口問題研究所が推計しており、日本の地域別将来推計人口を用い

て2010年から2040年までの間に人口移動がこのまま推移した時、20〜30才代の女性が50%以上に減少する自治体を消滅可能性都市としたもの。当町は2010年の20〜30才代の女性人口は1705人で2040年には773人となり54.6%の減少となるので消滅可能性都市とされた。今回の発表は数字的な議論に基づき公表され、地域実情や特別な原因など考慮されておらず、いろいろな要因が絡んでいるので当町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

**問** 「日本創成会議」とはどんな機関か。

**答** (まちづくり課長) 10年後の世界・アジアを見据えたとき日本全体の今後のあり方を描き、その実現に向けた戦略を作成するため産業界識者の有志が立ち上げられた組織で、メンバーは元総務大臣の増田東京大学教授を代表としてその他の教授、内閣官房参与、企業の11人で構成されている。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

**答** (まちづくり課長) 出生率を上げていく。そのためには若者が結婚し子どもを産み育てやすい環境づくり

のための政策を行う。その他の人口の増加、定住策、婚活事業にも取り組んでいる。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。

町は消滅する可能性ありとは考えていない。

また、人口減少対策等の戦略にはストッブ少子化、地方元氣、女性人材活用等を施策としていく。



浜村芳光議員

# 交通事故多発地点の早急な改善を

## 答より一層の交通事故防止対策を行う

**問** 県道112号、長洲・玉名線と町道向野・平原線が交差する塩屋橋地点の交差点で交通事故が多発して悲惨だ。対策を。

**答** (町長) 県道112号、長洲・玉名線と町道向野・平原線が交差する塩屋橋地点の交差点で交通事故が多発して悲惨だ。対策を。

**問** 路面のカラー舗装をされたら効果があると思うが。

**答** (建設課長) あると思うが。

**問** 江戸時代の初期に築かれた石垣の立派な堤防である町指定文化財『新塘』であるが、雑草や雑木が茂り、枯れ木も目立ち、景観が

**答** (町長) 悪い。空き缶やペットボトルの不法投棄も目立つ。環境整備をすべきでは。

**問** 雑草、雑木の除去を行い、道路交通環境の確保に努め、不法投棄のない地域環境の保全に努める。

**答** (町長) 雑草、雑木の除去を行い、道路交通環境の確保に努め、不法投棄のない地域環境の保全に努める。

### 町指定文化財の環境整備を

#### 大切な文化財の保存整備を行う

**問** 町指定文化財について学校ではどのような教育指導をされているか。

**答** (教育長) 小学校では、史跡の見学や伝統行事の体験学習を行い、歴史や

**問** 現地に行き指定文化財について説明をして子どもにも教育活動をするのが教育の原点と思うが。

**答** (教育長) 調査をかけ、そのようにしていただくように指導する。

**問** 向野区の溜池(通称裏山の堤)の土手が災害により崩落している。崩落が広がる可能性がある。農道に面しており通行者にとっては危険である。対策を。

**答** (農林水産課長) 損壊箇所の一部しか把握できていないため、水

を抜き除草等を行い、全体の状況の把握をして概算の金額を算出する必要がある。事業実施については、地元の方皆さん、受益者の皆さんと協議しながら進めていく。



交通事故多発 気をつけて!



向野区裏山の堤 早急な対応を!





整備が待たれる高浜・赤田線



福永栄助議員

## 町道高浜・赤田線(葛輪地内)の道路整備は怎么样了のか

### 答 来年度から未買収用地(五筆)の用地取得を行い、工事を実施する計画だ

**問** 数年前に測量設計も済んでいるが、この道路整備がいつまでたってもできない。計画そのものがなくなってしまうのか。

**答** (町長) 平成17年に測量設計を実施したが、財政状況により工事には着手していない。道路用地の大半は取得してい

るが、残りの五筆の未買収用地があるので27年から用地の取得を行い、工事を実施していく計画だ。

**問** 来年度から用地取得をするのでは工事がいつになるか計画がたてられない。今年中に地権者と誠意を持って交渉し、27年度の当初予算に工費を

計上すべきだと思うが。

**答** (町長) 今年度中から交渉

にかかり、もしできれば来年度当初で予算をあげていきたい。

### JR折地・五ヶ町踏切の拡張を

#### 现阶段の財政状況では着工は困難と考えている

**問** 折地踏切の現状(周辺も含む)をどのように認識しているのか。

**答** (町長) 町道折地・向野線にある幅員3メートルの狭小踏切で離合の際、自動車の待機場所が踏切から遠い状況だ。平成14年度に向野側から一部改良工事を実施したが、財政状況の悪化等により、その後進捗していない。

**問** 五ヶ町踏切の現状認識は。

**答** (町長) 町道葉山・梅田線にある狭小踏切で車が離合する場合は手前で待機する必要があり、交互に踏切を通過している状況だ。拡張についてはJRとの協議、また多額の費用を要することから、財政状況から现阶段でのすぐの着工は困難と考えている。



離合しにくい折地踏切

**問** 踏切拡張に多額の費用を要することは、向野踏切拡張で理解している。すぐとはいわないが、総合振興計画にのせ、計画を立てて何年後には実施するぐらいじゃなければずっとこのままではいいのか。

**答** (町長) 駅近くの踏切は財政負担が大きいというのはご理解いただいていると思う。振興計画にのせてやっていくのが本来の姿なのかと思っている。



濱崎 久議員

# 教育委員会は委員長が代表者である

## 答 教育長で代弁できると理解している

**問** 第二次世界大戦は侵略戦争だったのかどうか、どう捉え、どのように指導しているのか。

**答** (教育長) 私がこの質問に答える立場ではないので、意見は控えさせていただきます。

**問** だから教育委員長に質問通告しているのか。

**答** (教育長) 議会出席は、教育委員会の義務であり、出席すべきと理解している。

**問** 教育長は、全て教育委員長の代弁ができると思っているのか。

**答** (教育長) そのように理解している。勉強していただきたい。

**問** それは違う。第10章教育第1条で委任できないことが、明記されている。勉強していただきたい。

### 瀬々なぎ池跡地売却は怎么样了か

#### 寺の理解も得てる

##### 他の質問

**問** 瀬々なぎ池跡の売却について、試行錯誤の末、寺用地に分筆売却する話に立ち合っている、その後、町長と住職が分筆購入の運びになったと、承知していたがどうなったか。

**答** (町長) 瀬々なぎ池跡の売却については、寺の理解も得ている。試行錯誤の末、寺用地に分筆売却する話に立ち合っている。その後、町長と住職が分筆購入の運びになったと、承知していたがどうなったか。

① 教育基本方針について(学校統廃合・学力テスト・地方自治法)  
② 長洲駅南側に、ホームを増設し、せめて車椅子の住民やご老人が上りの列車に乗車可能対策をとれないか。  
③ 街路樹の剪定を70、80才の人が、稲の生育の為に木に登ってされている。外灯が見えない、一日何回も毎日落ち葉の掃除をされているのを見て、対策を取らないのか。  
④ 36年間も、町道横塘線の改良ができない理由を示せ。  
⑤ 町・崩壊の危機対策について(4m以上の道路用地提供者には、町道として完備し、住宅が建てられるようにしてはどうか。)

⑥ 浦川改修による、雨水排水対策について。  
⑦ 新山海岸線工事で墓石の沢石が野積みされているが。  
⑧ 赤字財政の反省と、次々出てくる、赤字対策について。  
以上質問した。



瀬々なぎ池 今後どうする？



委員長が代表者！





福本みや子議員

# ホームページで長洲の魅力と元気を!!

## 答計画後、効率的活用で広報活動の充実を図る

**問** ホームページは、その町の取り組みや住民サービス、元気度等を全国津々浦々まで発信しアピールできる。本町の現状と今後の活用方針は。

**答** (町長) 情報発信手段として、平成25年度は25万3千件のアクセスがあった。町ホームページ運用管理要綱により、掲載情報の内容や方法を定め行っている。今後は、広報戦略においてPR手段として様々な形で運行したい。



ホームページは「まちの顔」

**問** 各課で情報量や内容に差があるが、掲載システムはどうなっているのか。

**答** (まちづくり課長) 要綱に沿い、各課の責任のもと、話題、新着情報、統計的データを更新している。職員一人一人が町の広報マンとして自覚し、広報活動の充実を図りたい。広報委員会やPRを率先して行い情報発信に努め、職員間に温度差のないよう取り組んでいる。

**問** ホームページは町の顔。斬新でインパクトが必要だ。画面

**答** (町長) 情報のリアルタイムな発信とコンテンツづくりを進めたい。

**問** の工夫や操作などを今後どう考えているのか。

**答** (まちづくり課長) 引きつけるキャッチコピーやわかりやすい言葉、図・写真での表現等を心がけ相手に伝わる心遣いを大切にしていきたい。

### JR長洲駅に独自のメロディーで町のPRを!!

#### 難しいが再度協議したい

**問** JR長洲駅の発車ベルを独自のメロディー音に換えることで乗降客を癒し、金魚のふれ売り声など長洲特有のもので町のPR

**答** (町長) JRのシステム上長洲駅の独自の取り組みは難しい。

**問** の一環として提案してはどうか。

**答** (まちづくり課長) スピーカーの設置ができるのか再度協議する必要がある。

他の質問

○名石浜遊歩道の危険箇所の整備について



長洲駅も町のPRに一役買って!



次世代に魅力ある農業を



大森秀久議員

# 町として農漁業基本条例をつくる考えは

## 答 関係者と協議して理解を深めることが必要

**問** 魅力ある農漁業を次の世代に引き継ぐために農漁業基本条例をつくる考えは。

**答** (町長) 全国的には少ないが、条例を制定する自治体がある。条例をつくるには、行政、住民、事業者、関係団体等がそれぞれの役割、責任を果たしていくかが重

要となり、関係者と協議して理解を深めることが必要と考えている。

**問** 農協中央会の廃止や、農業委員会の見直しが現実となればどのように対応していくか。

**答** (町長) 内閣府の諮問機関で議論されているが、推移を見守っていきたい。農漁業が町の基幹産業との認識が変わりはなく、国の政策が大きく変わることがあっても、町の農漁業がさらに発展していくために、やる気を持って経営されている方たちが安心して、規模拡大や品質向上等に取り組みよう支援していきたいと考えている。

### 高齢者徘徊ネットワークが必要

#### 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指す

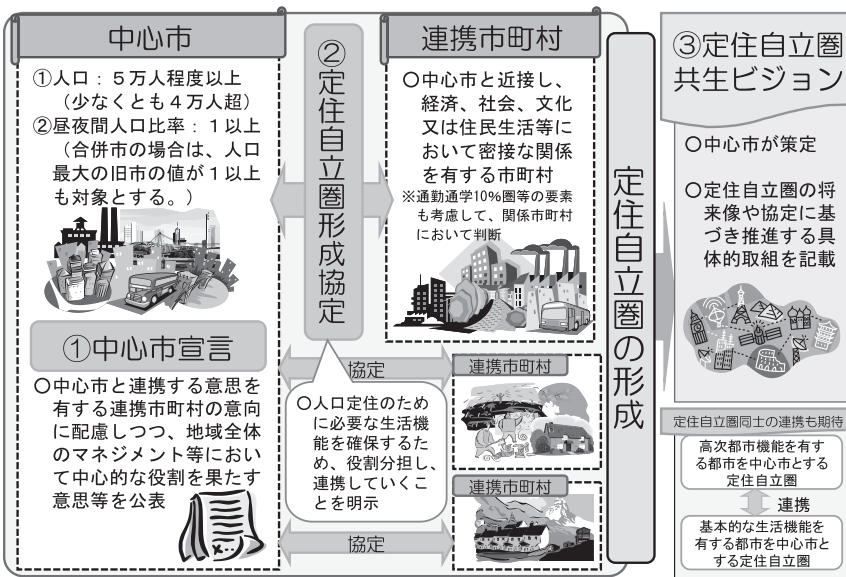
**問** 定住自立圏構想で、三大都市圏への人口流出をくい止める自立のための経済基盤や定住のために必要な諸機能を総体として確保するとあるが、町として公契約条例を制定する考えはないか。

**答** (町長) 公契約条例については、町もノウハウがまだまだで県内の自治体でもこういう条例が出来てくれば、我々も勉強、研究をしていかなくはならないという思いである。九州で唯一公契約条例を制定している直方市での運

用や効果などを十分に見極め、他の自治体の動向など、情報収集に努めていきたいと考えている。

**問** 定住自立圏構想の福祉分野で、高齢者徘徊ネットワークづくりと、徘徊模擬訓練も積極的にすすめていく立場で取り組むべきと考えるが。

**答** (福祉保健介護課長) 定住自立圏構想の中で、高齢者徘徊ネットワークの構築を図り、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指す趣旨で徘徊訓練を実施することになっている。



定住自立圏構想(イメージ図)



議案  
意見書提出

青少年健全育成基本法の制定を求める陳情  
〔内容〕

青少年健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、有害環境から青少年を守るための国や地方自治体、事業者、そして、保護者等の責務を明らかにし、これらによる一貫性のある包括的・体系的な法整備が必要であると考える。  
特に、健全な青少年は健全な家庭から育成されるという原点に立ち返り、家庭の価値を基本理念に据えた青少年健全育成基本法の制定が必要と考える。

建設経済文教常任委員会「採択」(全員賛成)  
〔採択の理由〕  
過去の動き、青少年保護条例との兼ね合い、昨今の青少年が絡んだ事件等を確認し、全会一致で採択すべきと決定した。

〔本会議〕  
「採択」  
賛成 12人  
反対 1人

国へ意見書を提出しました。

反対討論  
大森 秀久議員  
青少年健全育成基本法の制定を求める陳情については、学校教育の否定とも取れる文言があり、価値観として健全な家庭とは何を指すのかもわからない。家庭の問題で論じた場合、ひとり親家庭もあり、それが健全なのかそうでないのかにまで議論が及んでくる可能性もあり、この陳情に対しては、反対の立場で討論とする。

賛成討論  
福本みや子議員  
今日相次ぐ少年の凶悪事件の発生で青少年の荒廃は深刻な状況にある。都道府県青少年育成条例の限界もある。基本理念や方針を明確化し、国や地方公共団体、事業者、保護者の責務を明らかにした一貫性のある包括的・体系的な法整備が強く求められている。一日も早く、青少年健全育成基本法の制定を望み賛成討論とする。

追跡レポート

あん質問はどがんなった

平成24年12月 一般質問  
終戦記念日の8月15日には黙とうを。

答 弁

広報やホームページで実施を周知し、戦争犠牲者のご冥福を祈り、平和のため黙とうを行いたい。

その後  
平成25年から終戦記念日の正午にサイレンをならし、黙とうの勧奨をすすめている。

# 町民のひろば

## 夏の夜の よき思い出に...



夏まつり実行委員会

長洲町夏まつり「のしこら祭2014」を8月23日(土)に金魚と鯉の郷広場で開催します。

この『のしこら』の意味ですが、長洲町に昔から歌い継がれている『長洲嫁入り唄』という唄があります。その唄の囃子詞として、『のしこら』と歌われる部分があります。歌詞の流れからいろんな苦労や世間の荒波を乗り越えて、長寿をまつとうする・お嫁さんに“のしを添える”と言う意味が込められているそうです。

「のしこら祭2014」を「町民の祭」として楽しんでいただくために、現在、実行委員会で毎週火曜日に町中央公民館にて企画委員会を行っています。来場された誰もが楽しんでいただけるよう、のしこ乱舞～長洲舞人～、金魚みこしレース、町民総踊り、花火大会等、盛りだくさんのプログラムを予定し準備中です。実行委員会一同、皆様にとって夏の夜の良き思い出となるような祭を開催したいと思っていますので、8月23日(土)は是非、金魚と鯉の郷広場へお越しく下さい。

## 議員活動や 姿勢を実感



中島 久子 (宮崎区)

今回の傍聴は3月に続いて2回目でした。ピーンと張り詰めた緊張感あふれる議場で一般質問の質疑応答を傍聴し、私自身初めて知り得ることが多くいろいろ勉強になりました。

又、「ながす議会だより潮さい」だけではわかりにくい白熱した双方のやりとり、その生の迫りに圧倒されました。それぞれの立場で真剣に取り組まれていることもわかりました。皆さんも機会があれば是非傍聴されてはいかがでしょうか。私達が選んだ議員さんの活動振りやその姿勢を実感出来ることはもちろん、何より今までにも増して町政への関心が高まって来ると思います。私は今後も時間の許す限り傍聴したいと思っています。

## ひびき

心配される台風11号。町民の皆様は被害がないことを祈るばかりです。それでもこれから何

度となく台風の襲来を受けられることか、そんな自然の営みを感じる季節です。季節といえば毎年我が家の窓際に夏の日差しを避けるためのゴーヤのグリーンカーテンを作り、食材としても楽しんでますが、今年はどうも実の成長が思わしくなく感じているこの頃です。そんな中、6月

議会を終え、今、広報(潮さい)の編集作業に奮闘中です。愛読される「潮さい」でありたい、そう願いつつ！  
(睦)

皆さん傍聴に出てこんわ!  
次の定例会は  
**9月11日(木)**  
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先  
議会事務局  
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

広報委員	
委員長	徳永 範昭
副委員長	竹本 信次
委員	
委員	福本みや子
委員	大森 秀久
委員	荒木 睦子
委員	磯野 博
委員	市原 一広
発行責任者	
議長	松井 一也